

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>1 「医療アクセス促進」事業により、一次医療施設 (PHC) を 2 つ設置したことで、エルビル市郊外の医療施設が皆無であったハルシャム地区、ゼイリーン地区の国内避難民それぞれ 4,174 人/月、1,074 人/月の国内避難民 (アラブ人)、および地元住民 (クルド人) が基礎医療にアクセスできるようになった。また 2015 年度から継続して支援を実施しているマルチシムニ教会クリニックへの薬剤処方支援により、アインカワ地区の国内避難民 7,013 人/月が医療サービスを受容でき、3,100 人 (実人数) が慢性疾患の治療を継続して受けることができた。</p> <p>2 「医療サービス拡充」事業により、公立病院では予約取得が困難、私立病院では高額な費用が要求される眼科や内視鏡などの高次の医療検査サービスを実施したことで、国内避難民の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>3 「予防医療」事業により、国内避難民の疾患の中でも非常に高い割合を占める慢性疾患の予防講座を計 538 人に実施すると同時に、避難民居住区の住人 2,000 人慢性疾患予防パンフレットを配布したことで、自主的な健康管理を実施する意識を高めることができた。</p> <p>4 イスラム国出現によって大きなデモグラフィック・チェンジが生じた事業地域において、当該事業を通じ、「イラク中央政府ニナワ県保健局 (避難民発生県)」と「クルド自治政府エルビル県保健局 (ホストコミュニティ)」が政治対立や行政区分の違いを乗り越えて協力体制を構築することができた。対イスラム国軍事作終了後も両政府間の政治対立による同種の問題が懸念されるが、こうした協力体制を築くことは仮に将来このような問題が再び生じたとしても国内避難民や地元住民が保健サービスからあふれないようにする一助となると思われる。(※別添資料参照)</p> <p>上記の四点を以て上位目標である「クルド自治区エルビル県における国内避難民の健康状態が改善する」を達成できたと考える。</p>
(2) 事業内容	<p>(ア) 医療アクセス促進『急性・慢性疾患患者への投薬指導』 マルチシムニ教会クリニック及びニナワ県保健局傘下の PHCC において、慢性疾患患者への医薬品の使い方を現地医師に対して指導した。 (事業地) マルチシムニ教会クリニック (アインカワ地区) 同クリニック支部 (アインカワ地区) エルビル県保健局 PHC (ハルシャム地区) エルビル県保健局 PHC (ゼイリーン地区)</p> <p>(イ) 医療サービスの拡充・・・『医療器材および検査機器の設置』 需要が高い眼科と耳鼻科および、血液検査器をはじめとした各種検査機器をマルチシムニ教会クリニック (a) に設置し、医療拠点としての専門性を高め、クリニックにおける医療サービスを拡充した。また 2 つのエルビル県保健局 PHC (b) においては一次医療機関として最低限の医療サービスを提供することを目的とし、基礎的な医療資機材を設置した。変更点として、両エルビル県保健局 PHC に需</p>

	<p>要の高かった歯科を設置した</p> <p>(a) 設置診療科、機材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳鼻科 ・眼科 ・血液検査機器 ・生化学検査機 ・産婦人科用経膈プローベ ・超音波診断装置 ・内視鏡 <p>(事業地) マルチシムーニ教会クリニック(アインカワ地区)</p> <p>(b) 設置診療科、機材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニック開設に必要な設備品 ・診察、検査を行うために必要な基礎医療機材 ・生化学検査機 ・耳鼻科 ・超音波診断装置 ・歯科 <p>(事業地)</p> <p>エルビル県保健局 PHC (ハルシャム地区)</p> <p>エルビル県保健局 PHC (ゼイリーン地区)</p> <p>(ウ) 予防医療・・・『健康講話会と啓蒙パンフレット配布』</p> <p>アルビル市内外の国内避難民を対象とし、高血圧・糖尿病・心疾患、ガンなどの慢性疾患予防のための健康講話会を実施した。また、啓蒙パンフレットを国内避難民に配布した。</p> <p>(事業地)</p> <p>マルチシムーニ教会 (アインカワ地区)</p> <p>国内避難民居住区 (ハルシャム地区)</p> <p>国内避難民居住区 (ゼイリーン地区)</p>
<p>(3) 達成された成果</p>	<p>(ア) 医療アクセス促進『急性・慢性疾患患者への投薬指導』</p> <p>(成果を測る指標)</p> <p>外来患者 1 万人/月の 7 割が適切な薬剤処方を受ける</p> <p>(達成された成果)</p> <p>外来患者 12, 220 人 (のべ人数) /月の 8 割が適切な薬剤処方を受けることができた。慢性疾患薬品については、登録制によって行い、3, 1 0 0 人 (実人数) の登録患者に薬剤処方が行われた。</p> <p>(イ) 医療サービスの拡充・・・『医療器材および検査機器の設置』</p> <p>(a) マルチシムーニ教会クリニック</p> <p>(b) エルビル県保健局 PHC2 か所 (ハルシャム地区/ゼイリーン地区)</p> <p>(成果を測る指標) (達成された成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳鼻科 (a, b) 200 人/月が受診→(a) 206、(b) 399 人 ・眼科 (a) 100 人/月が受診→(a) 98 人 ・血液検査 (Hba1c) 機器 (a) 240 人/月が受診→(a) 22 人 ・生化学検査機 (a, b) 340 件/月が受診→(a) 571、(b) 1, 029 件 ・経膈用プローベ (a) 100 人/月が受診→(a) 80 人 ・超音波診断装置 (a, b) 180 人/月が受診→(a) 182、(b) 457 人

	<p>・内視鏡(a) 80人/月が受診→(a)26人 ・歯科(b) (指標無し)→(b)668人</p> <p>概ね指標を達成できたが、内視鏡に関しては内視鏡検査の実施に適切な建物の準備に手間取り、検査を開始したのが12月と非常に遅れたため指標に大きく届かなかった。しかし、事業期間を過ぎた現在は軌道に乗り、受益者数も増えていく見込みである。</p> <p>(ウ) 予防医療・・・『健康講話会と啓蒙パンフレット配布』 (成果を測る指標) 200人の国内避難民に対し健康講話会を実施する。 2,000人の慢性疾患患者にパンフレットを配布する。 (達成された成果) 538人の国内避難民に対し、健康講話会を実施した。また、同講話会を聴講した現地医療従事者によって講話会の内容が他地域でも広められている。また、同講話会の聴講者や事業地の医療施設に来院する患者対象に慢性疾患予防パンフレット2,000部を配布した。</p>
(4) 持続発展性	<p>マルチシムニ教会クリニックについては、現在、同クリニックは教会から独立したNGO組織「HNRO」へと変わり、海外の支援団体等との協力関係を結び積極的にファンドレイズを行い、医療施設運営の財政基盤を強化、薬剤などの調達も安定して行えるようになってきている。そこで同クリニックはこれまでの一時的な仮設診療所としてではなく、病院化する方針を進めている。そのため当初はニナワ県保健局に引き継がれる予定だった、機材や運営ノウハウ等はHNROによって現状のまま活用されることになる。</p> <p>ハルシャム地区、ゼイリーン地区PHCについては、既にエルビル県保健局へと運営が引き継がれており、維持管理もエルビル県によって行われている。医療従事者、薬剤等のソフト面についてはエルビル県保健局のみで維持していくことが可能かどうかの懸念が残されていたが、2017年3月にニナワ県保健局、エルビル県保健局と弊団体を含めた会合において、ニナワ県保健局側が医療従事者、薬剤の供給を継続するという事で合意がなされた。また、現在クルド自治区内での対イスラム軍事作戦はほぼ完了しており、クルド自治政府の財政状況の改善も見込まれている。今後はこうした財政状況の改善に伴い、人材不足や薬品不足が解消し、より安定したPHC運営がクルド自治区保健局によってなされることが期待される。</p> <p>「予防医療」において実施された講話会の内容は、2016年度N連事業においても継続して実施される予定である。また本事業において作成された慢性疾患予防パンフレットは各事業地において常備され、外来患者に継続して配布されることになっている。</p>